



十日町 Tokamachi

市議会だより

市民と議会の
ネットワーク

平成25年6月10日発行

■発行 十日町市議会 十日町市千歳町3丁目3番地 TEL.025-757-3111 FAX.025-757-5999
E-mail: t-gikai@city.tokamachi.lg.jp TEL.025-757-3119 (直通)

■編集 議会だより編集委員会

No.35

5月14日に臨時議会を開催

6ページをご覧ください

新しい議会構成が決まりました



十日町市議会議員26名（平成25年5月改選）

この度、議員各位のご理解とご支援により副議長にご推挙いただき、心より感謝申し上げます。その職務の責任の重さに、身の引き締まる思いでございます。自らの議員としての職務はもとより、副議長として議長をしつかり補佐し、議会運営がスムーズにいくよう精いっぱい努力いたします。よろしくお願いいたします。



市議会副議長
鈴木一郎

副議長あいさつ

この度、議員の皆様方から選任いただき、議長職に就かせていただきました。心より感謝申し上げます。その職責の重大さに、身の引き締まる思いでございます。十日町市の発展と市民の生活向上のため、一生懸命努めさせていただきます。皆様方のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げ議長就任のご挨拶いたします。



市議会議長
川田一幸

議長あいさつ

議員として取り組む課題と抱負

1

大嶋由紀子

(四日町中原)



市民の声を市民目線ですっきり届けます(女性、子育て中の方の届きにくい声もしっかりと)。若い人たちも市政に関心を持てるように発信し、身近な議員になります。

3

村山達也

(松代)



初心を忘れず、市民目線に立ち、お年寄りや子育て世代などの声を聞き、市民と市政とのパイ役に務めます。現場第一主義でみんなが安心して住み続けられる地域づくりを進めます。

5

小林 均

(本町4丁目)



市民の声を市政に反映できるように、市民との対話の機会をつくり、議員や議会活動がどんなことを伝え、市民が幸せと感ぜられることは何かを考え、議員として何ができるかを考える。

7

遠田延雄

(川治内後第2)



新市合併10年もすぐそこです。良かったと言えるため、全力を挙げる大切な時です。行政も議会も全力で挑戦です。議会の役割、力とは何か。何といつても市民の期待に応える時。

9

仲嶋英雄

(上野)



生活に直結する、流雪溝の整備と国道403号線の道路幅員を十分確保する整備により、安心・安全な通行を確保すること。清津川の水を取り戻すことです。

2

福崎哲也

(伊達第4)



地域の資源・財産を生かしながら、個性的で魅力ある地域を創っていくことが重要。市民の皆さんが十日町のキャストであることで「選ばれる十日町市」を実現しなければなりません。

4

高橋俊一

(千手上町)



周辺地域の活性化なくして、中心市街地の活性化はあり得ません。地域ごとの自立と連携を促進し、全市一体となったまちづくりに向けた仕組みづくりに取り組みたいと思います。

6

吉村重敏

(中条峠)



市民の声を届け実現したい。日本一の歴史遺産「榕堂・紅陽・火焰型土器」を発信し、誇り高い青少年教育と十日町産品の付加価値につなげたい。子育て支援、都市交流に努力したい。

8

藤巻 誠

(新光寺)



市議とは①地域の代弁者として市全体のオピニオンリーダーとして、市の未来を切り開く活動することと考え実践します。信濃川・清津川の再生と定数削減等の議会改革に取り組みます。

10

鈴木和雄

(倉俣)



多様な農家が農業に励むことができる環境づくりに努め、地域の特色を生かす「まちづくり」に取り組みます。何より「安全で安心して暮らせることが第一」をモットーに活動に励みます。

11

小林弘樹

(春日町1)



強く、たくましい地域を育てる。それが「本当の豊かさを求めたまちづくり」につながると思っています。

地域自治組織の強化に努めます。

13

近藤紀夫

(下条中央通り)



雪国のハンディを少しでも克服するため、道路改良や克雪対策事業等の促進に努めます。

人口の減少傾向に歯止めをかけるため、その対策につながる環境整備に全力で取り組みます。

15

羽鳥輝子

(木落)



現場に出掛け、問題点や現状を自分の目で確かめ、住民の皆さんとともに問題意識を持ち、行政に働き掛けて改善していきます。心の通い合つやさしい地域づくりを目指します。

17

飯塚茂夫

(南雲)



地域資源を生かした産業振興に取り組み、都市間交流を盛んにして都市と農村の連携を強め、地域の活性化を図りたい。安心・安全なまちづくりのためのインフラ整備に努めます。

19

太田祐子

(川治内後第2)



公平・平等な協働のまちづくりを進め、医療・介護・福祉の連携で誰もがこの地で暮らせるよう努め、地産地消を推進し循環型社会確立に尽力し安心と笑顔のある暮らしを目指します。

12

宮沢幸子

(大黒沢第1)



いのち輝く地域を目指して、暮らし、子育て、高齢社会を支え、赤ちゃんからお年寄りまで元気と希望を持てる地域づくりを、現場第一主義に徹し全力で取り組みます。

14

安保寿隆

(四日町第1)



議会の役割が問われています。予算、決算、条例の審査は当然ですが、重要なことは市政をチェックし、市民の声を届けることです。市長提案何でも賛成でなく、是々非々を貫きます。

16

小嶋武夫

(新町新田)



合併して8年。豊かな十日町市実現のために産業育成で外貨を得ること、基幹産業は農業との立場で、養豚産業の臭気対策は堆肥センターの実現で解決するべき。

18

鈴木一郎

(白羽毛)



議会、議員の立場、役割を忘れず、住民の声を市政に生かし、地域格差のない地域創り、地域資源を生かし、若者が定住できる地域創りに全力で取り組みます。

20

涌井 充

(高島第1)



老後を安心して暮らせる高齢者福祉の充実、安定した雇用の創出と地場産業の振興に向けて、夢あるあすの十日町市を見つめて誠意と情熱を胸に、市政発展のために全力で取り組みます。

議員として取り組む課題と抱負

21 川田 一幸

(珠川)



子や孫が継げる故郷づくりに向け、安心安全に暮らすための医療とインフラの整備、雇用の確保、新しい農業スタイル、大胆な議会改革など住民目線に立ち住みよい環境づくりに努める。

23 村山 邦一

(上川手)



安心して住み続けられる地域づくりと克雪対策。十日町病院の早期建設、松代病院の存続で医療、福祉の充実。中山間地農業への支援で若い担い手育成。生活密着の公共事業の拡大を。

25 庭野 政義

(本町7-1)



21世紀の郷土創りを目指す。地場産業のさらなる振興と、教育、芸術文化を高め、福祉の充実を図り、子どもたちに誇れる郷土創りに尽力します。

22 庭野 茂美

(高田町1)



駅やバス停、あるいは自宅から歩いて行ける範囲に、病院やお店などの生活に必要な機能の維持・確保、さらには「にぎわい」の創出を図る中心市街地の活性化に努めてまいります。

24 小野 嶋 哲雄

(太平)



「人と産業が育つ環境の整備」市民との対話を重視し、高齢化集落への人的支援。農業後継者の新規参入支援と拡大。24時間在宅介護サービス体制の整備。交流人口拡大による経済の拡大。

26 高橋 洋一

(湯本)



財政の健全化、将来負担比率の削減を図り、医療機関のネットワークの推進、災害に即応できる高速交通体系の整備促進、新規ビジネスによる雇用の確保、インフラの整備に努めます。

一般会計補正予算と 主な事業

5月臨時会

《平成24年度補正第13号》

この補正は、今冬の豪雪を受け、不足する道路除雪経費の追加を3月29日付で専決処分し、予算化したものです。

○市道除排雪経費（建設課）

・除雪委託料の追加
8,400万円

《平成25年度補正第1号》

この補正は、今冬の豪雪により春の農作業の遅れが懸念されたことから、農道除雪等にかかる経費に対し補助金を交付し、作業の遅れを防止するため必要となる経費などを専決処分し、予算化したものです。

○消雪対策事業（農林課）

・消雪対策事業補助金の追加
1,300万円

○一般土地改良事業（農林課）

・除雪委託料の補正
370万円



春の農作業に向け除雪が進む農道
(4月 鉢地内)



(市のホームページからアクセスできます)

議場での本会議の様子をインターネットで配信しています。開会中は生中継を、閉会中は録画中継をご覧になれます。ぜひ、ご利用ください。

議
会
日
誌

4月
▼
5月

市議会としての主な活動を掲載しています。

【4月】

4日・北信越市議会議長会
(富山市)

【5月】

7日・議員懇談会

8日・愛媛県四国中央市議会視察来市

14日・平成25年第1回臨時会

・全員協議会

・東京都多摩市議会視察来市

15日・滋賀県東近江市議会視察来市

・鹿児島県南九州市議会視察来市



各課の業務について説明を受ける
4人の初当選議員

16日・鹿児島県南さつま市議会視察来市

16日・17日
・初当選議員研修会

22日・全国市議会議長会定期総会(東京)

24日・新潟県特別豪雪地帯市町村議会協議会定期総会

(三条市)

29日・市議会議員共済会代議員会(東京)



議長選挙の投票



新しい顔ぶれによる議案審議

議
会
傍
聴

初議会を傍聴して

(中条 60代 男性)

改選後初めての市議会を傍聴させていただきました。

議員定数が30名から26名に4名少なくなりましたが、新人議員も40代前半の方々が3名も当選し、議員の年齢も若返った感じがいたしました。その中で、女性議員が1名増え4名になったことは大変良いことと感じています。

今回の議会でも、市長はじめ新人の女性議員を含む2名の方が着物姿で出席され、織物のまちとしてとても良いことと思います。これからは、若い議員から市政に対し新しい発想をどんどん取り入れていただき、十日町市が抱えている病院問題や少子化、高齢化、過疎化等々市民が安心して生活できるまちづくりを期待しながら今回の議会を傍聴させていただきました。

傍聴においでください

6月定例会は14日開会の予定です。詳しくは議会事務局へご照会ください。

5月臨時会議決結果

議案番号等		件名	採決状況	議決結果
市長提案	60	専決処分の承認（平成24年度十日町市一般会計補正予算〔第13号〕）	全員賛成	承認
	61	専決処分の承認（十日町市税条例の一部改正）		
	62	専決処分の承認（十日町市国民健康保険税条例の一部改正）		
	63	専決処分の承認（十日町市老人医療費助成に関する条例の一部改正）		
	64	専決処分の承認（平成25年度十日町市一般会計補正予算〔第1号〕）		
	65	固定資産評価員の選任（ しげの けんいち 重野 健一 氏）		同意
	66	損害賠償の額を定めること		原案可決
	67	監査委員の選任（ にわの しげみ 庭野 茂美 氏）	賛成多数	同意
議会提案	2	議長選挙		選挙
	3	副議長選挙		選挙
	4	議員の議席指定		指定
	5	議会常任委員会委員の指名		指名
	6	議会常任委員会委員長及び副委員長の選任報告		報告
	7	議会運営委員会委員の指名		指名
	8	議会運営委員会委員長及び副委員長の選任報告		報告
	9	十日町地域広域事務組合議会議員の選挙		選挙
	10	津南地域衛生施設組合議会議員の選挙		選挙
	11	議長の常任委員辞任	全員賛成	許可

議会構成が

決まりました

●議長

川田 一幸

●副議長

鈴木 一郎

●監査委員

庭野 茂美

■議会運営委員会

委員長
副委員長
委員

近藤 紀夫
小嶋 武夫
吉村 弘樹
小嶋 幸夫
宮沢 幸夫
飯塚 茂夫
太田 祐一
村山 邦一



改選後の初議会に向け、運営について協議した5月7日の議員懇談会

総務文教常任委員会
委員長 小林 弘樹
副委員長 太田 祐子
委員 福崎 哲也、藤巻 誠也、仲嶋 英雄、安保 寿隆、鈴木 充一郎

産業建設常任委員会

委員長
副委員長
委員

吉村 重敏
小林 均一
高橋 俊夫
近藤 武夫
小嶋 弘夫
庭野 邦美
村山 政一
高橋 義一

厚生環境常任委員会

委員長
副委員長
委員

宮沢 幸雄
遠田 延雄
大嶋 由紀子
村山 達也
鈴木 和雄
羽鳥 輝夫
飯塚 茂雄
小野嶋 哲雄

【所管事項】

福祉課（福祉事務所）・市民生活課・子育て支援課・発達支援センター・健康支援課・地域中核病院建設推進室・国民健康保険診療所及び環境衛生課所管に関する事項

【所管事項】

産業政策課・農林課・観光交流課・中心市街地活性化推進室・建設課・都市計画課・上下水道局及び農業委員会所管に関する事項

【所管事項】

企画政策課・総務課・財政課・防災安全課・税務課・会計課・教育総務課・学校教育課・生涯学習課・文化財課・スポーツ振興課・議会事務局・選挙管理委員会・公平委員会・監査委員及び固定資産評価審査委員会所管に関する事項。その他、他の常任委員会に属さない事項

※総務文教常任委員会の定数は9人ですが、議長は常任委員会の委員を辞任する申し合わせになっているため、8人となっています。

◆十日町地域広域事務組合議会議員

村山 達也
高橋 俊一
吉村 重敏
藤巻 誠雄
鈴木 幸子
宮沢 幸子
羽鳥 輝一郎
鈴木 一郎
村山 邦一
川田 幸一

◆津南地域衛生施設組合議会議員

鈴木 一郎
高橋 洋一
川田 幸一

◆議会だより編集委員会

委員長 藤巻 誠
副委員長 高橋 俊一
委員 大嶋 由紀子、福崎 哲也、村山 達也、吉村 重敏



新・議会だより編集委員の顔ぶれ

あとかき

○4月21日、市長・市議会議員選挙が行われ、市民の皆様
の審判が下されました。

当日は、氷雨交じりの天候も影響したのか76.2%の低投票率でした。この低投票率は、市民が市政に愛想を尽かしている兆しではないかと心配しています。今、若者たちがなりたい職業の順位では、政治家は141番目だといえます。テレビドラマで描かれる政治家像は、口先だけの公約をし、裏金を受け取り、市民を困らせる悪徳政治家として描かれていますから、この順位も納得できます。

しかし、政治を小馬鹿にすることは、天に向かって唾をするようなもので、結局は自分に返ってきます。改めて真剣に市政に取り組もうと心しているところです。

○編集委員6人のうち4人を1期議員が占めるフレッシュな体制となりました。市民に開かれた議会の第一歩は、情報公開をキツリとすることです。議会活動を分かりやすく、この紙面を通してお届けするよう努めてまいります。

（藤巻 誠）